

『第185回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2021年 7～9月期の実績 2021年 10～12月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社
(業種別内訳)	製 造 業 31社	卸 売 業 9社	
	小 売 業 26社	サ ー ビ ス 業 11社	
	建 設 業 21社	不 動 産 業 11社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

☆ 目次 ☆

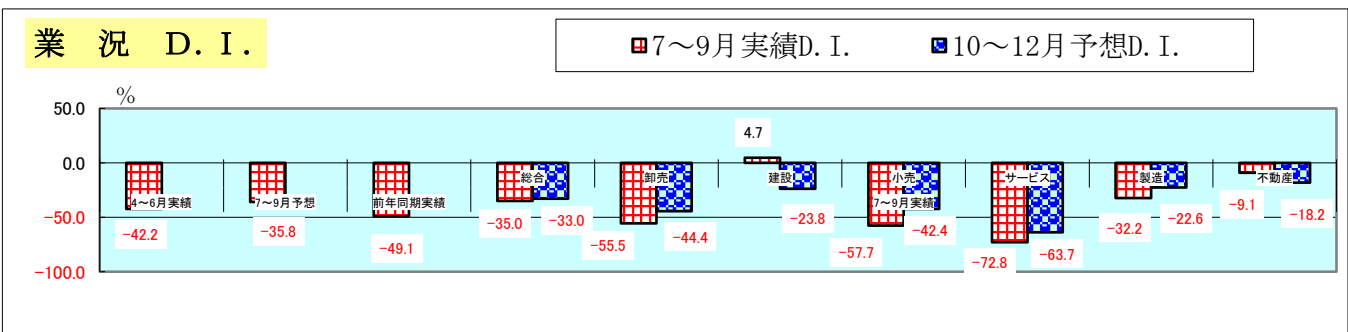
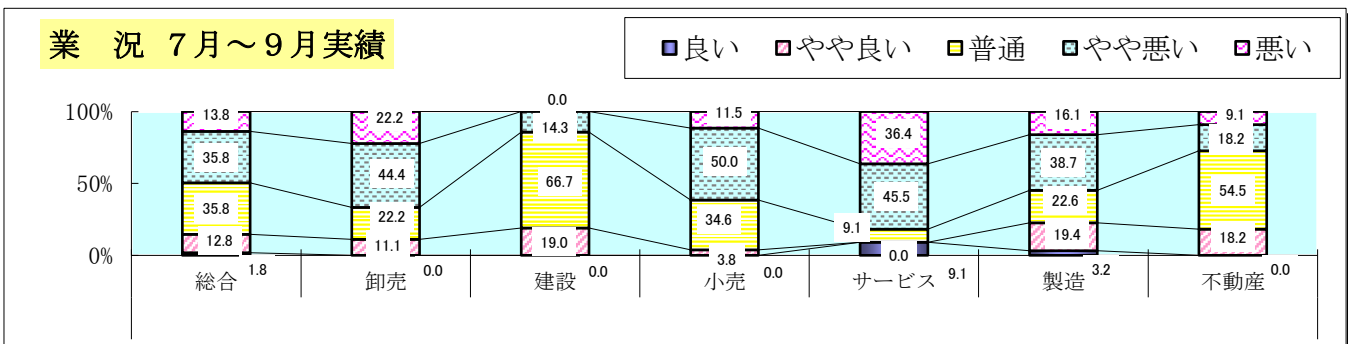
1	概況	P. 1
2(1)	前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2)	前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3)	前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4)	前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5)	前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6)	前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7)	前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1)	前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2)	前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3)	前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1)	前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2)	前期に比べた人手の動き	P. 13
5	前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1)	前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2)	前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
	経営上の問題点	P. 17
	当面の重点経営施策	P. 18
	特別調査 … 「中小企業の雇用環境について」①	P. 19
	特別調査 … 「中小企業の雇用環境について」②	P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



1. 概況

概況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-42.2	
7～9月予想							-35.8	
前年同期実績							-49.1	
7～9月実績	総合	1.8	12.8	35.8	35.8	13.8	-35.0	-33.0
	卸売	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2	-55.5	-44.4
	建設	0.0	19.0	66.7	14.3	0.0	4.7	-23.8
	小売	0.0	3.8	34.6	50.0	11.5	-57.7	-42.4
	サービス	9.1	0.0	9.1	45.5	36.4	-72.8	-63.7
	製造	3.2	19.4	22.6	38.7	16.1	-32.2	-22.6
	不動産	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1	-9.1	-18.2



○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’21年7～9月期の業況判断D. I. は△35.0で、’21年4～6月期（前期）と比べ7.2ポイント良化し、前年同期比では14.1ポイントの良化を示しました。また、次期についても△33.0と今期より2.0ポイント良化の予想となりました

○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ）

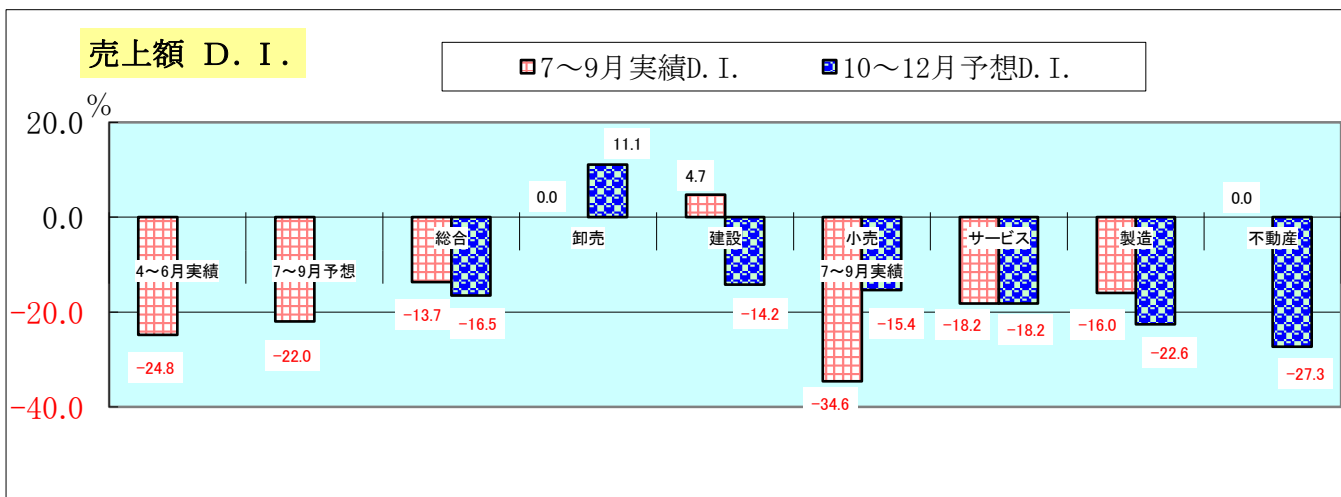
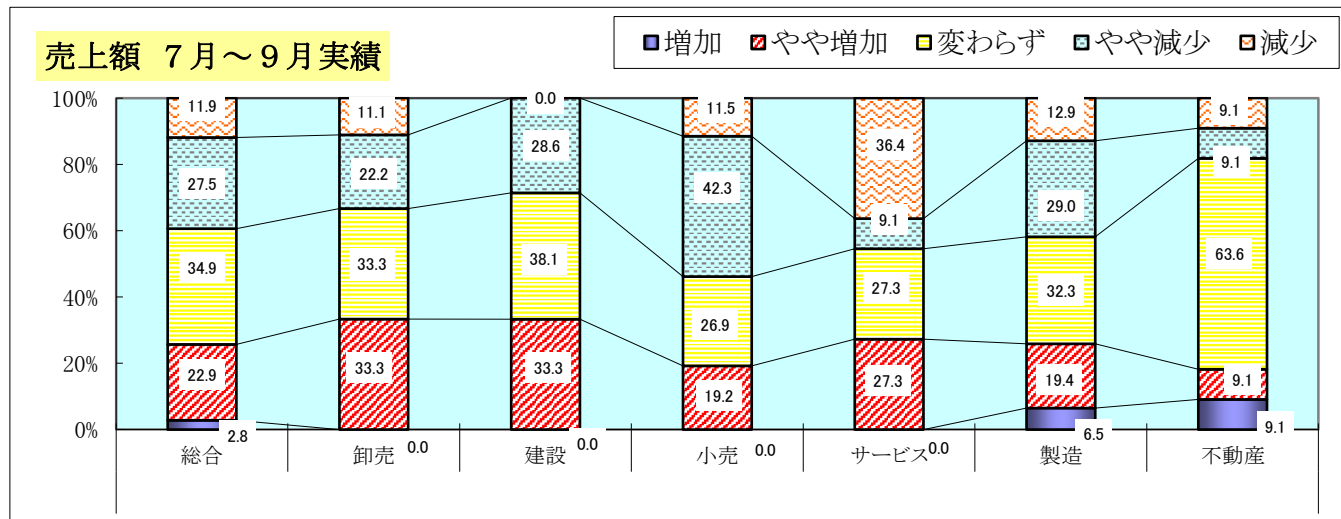
’21年7～9月期（今期）の業況判断D. I. は△29.1、前期比2.5ポイント改善と、依然厳しい水準のなかで2四半期続けての改善となった。

収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△14.5と前期比0.2ポイント改善、同収益判断D. I. は△17.2と同0.4ポイント悪化した。販売価格判断D. I. はプラス3.4と7四半期ぶりにプラス転換した。人手過不足判断D. I. は△15.3と人手不足感は一段と強まった。設備投資実施企業割合は0.6ポイント低下して19.9%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、小売業を除く5業種で、地域別では全11地域中、九州北部などを除く8地域で、それぞれ改善した。

’21年10～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△26.9、今期実績比2.2ポイントの改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、不動産業を除く5業種で、地域別には全11地域中、北海道を除く10地域でそれぞれ改善見通しにある。

2. 前期に比べた動き (1) 売上額の動き

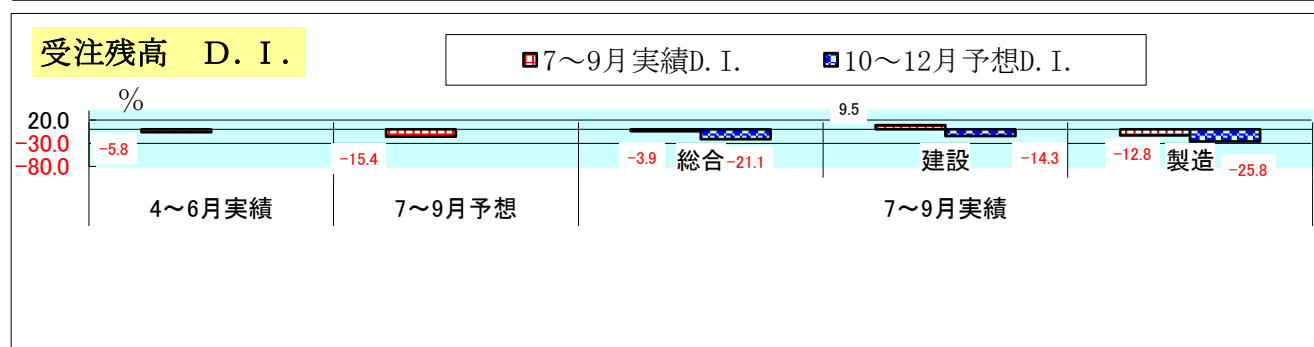
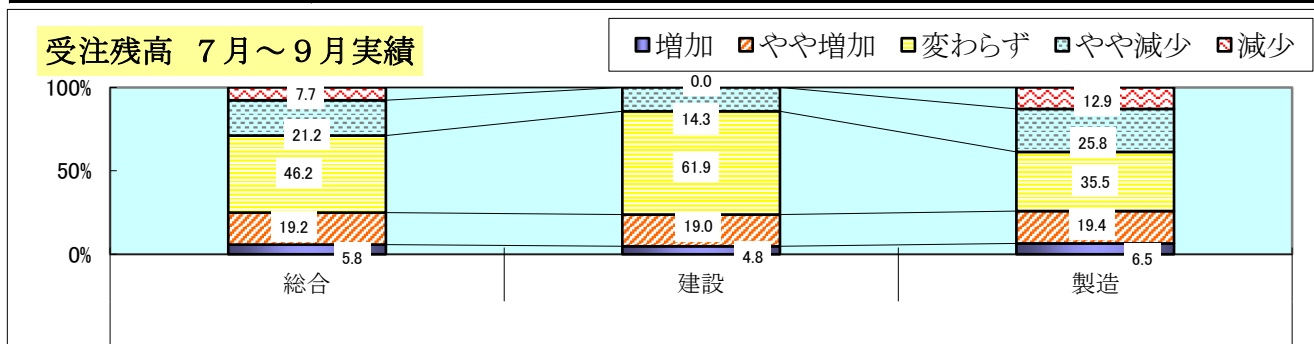
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-24.8	
7~9月予想							-22.0	
7~9月実績	総合	2.8	22.9	34.9	27.5	11.9	-13.7	-16.5
	卸売	0.0	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1
	建設	0.0	33.3	38.1	28.6	0.0	4.7	-14.2
	小売	0.0	19.2	26.9	42.3	11.5	-34.6	-15.4
	サービス	0.0	27.3	27.3	9.1	36.4	-18.2	-18.2
	製造	6.5	19.4	32.3	29.0	12.9	-16.0	-22.6
	不動産	9.1	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	-27.3



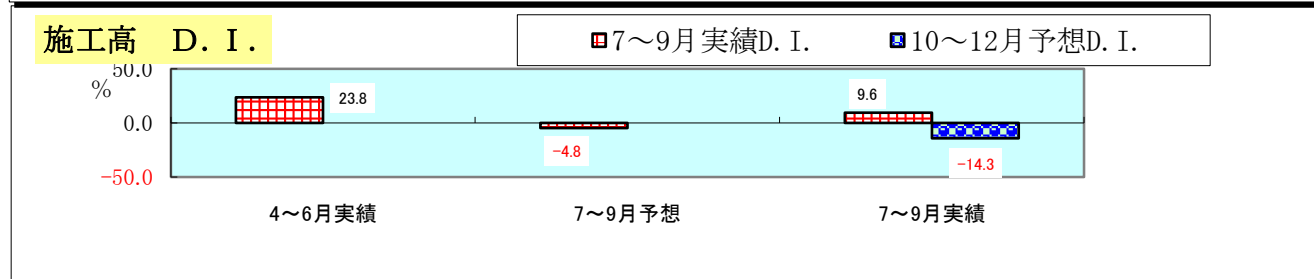
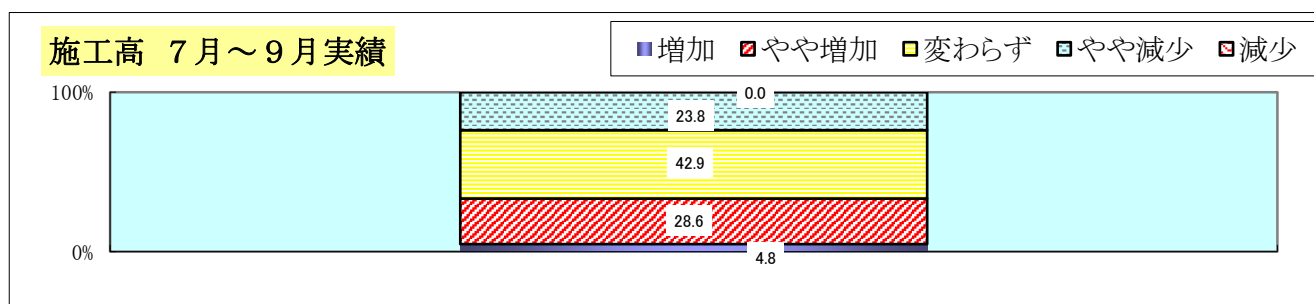
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の25.7%、「減少」「やや減少」した企業は39.4%を示し、今期D. I. は△13.7となりました。
- 今期の売上額判断D. I. △13.7は、前期実績D. I. △24.8から11.1ポイント良化。前回調査における今期の予想D. I. △22.0からは8.3ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、建設業で4.7ポイントの増加となり、卸売業と不動産業は0.0の均衡となりました。他の業種では売上額の減少を示しており、殊に、小売業で△34.6と大幅な減少を示している。次いで、サービス業で△18.2、製造業で△16.0の減少を示した。
- 10~12月期の予想D. I. は△16.5で、7~9月実績より2.8ポイントの売上額減少予想となりました。

(2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-5.8	
7~9月予想							-15.4	
7~9月実績	総合	5.8	19.2	46.2	21.2	7.7	-3.9	-21.1
	建設	4.8	19.0	61.9	14.3	0.0	9.5	-14.3
	製造	6.5	19.4	35.5	25.8	12.9	-12.8	-25.8



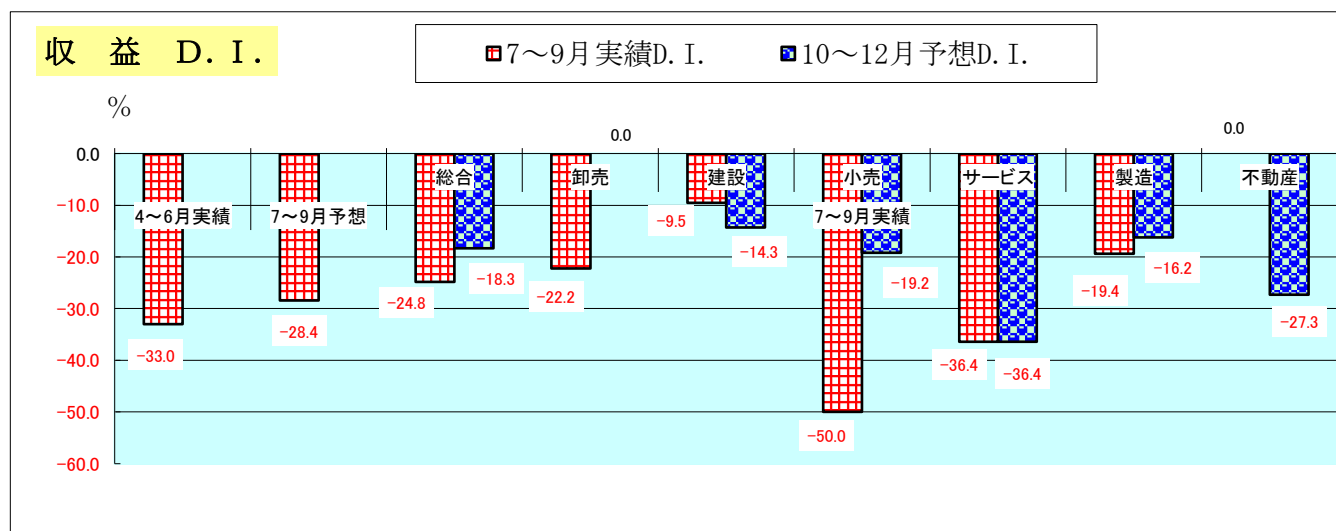
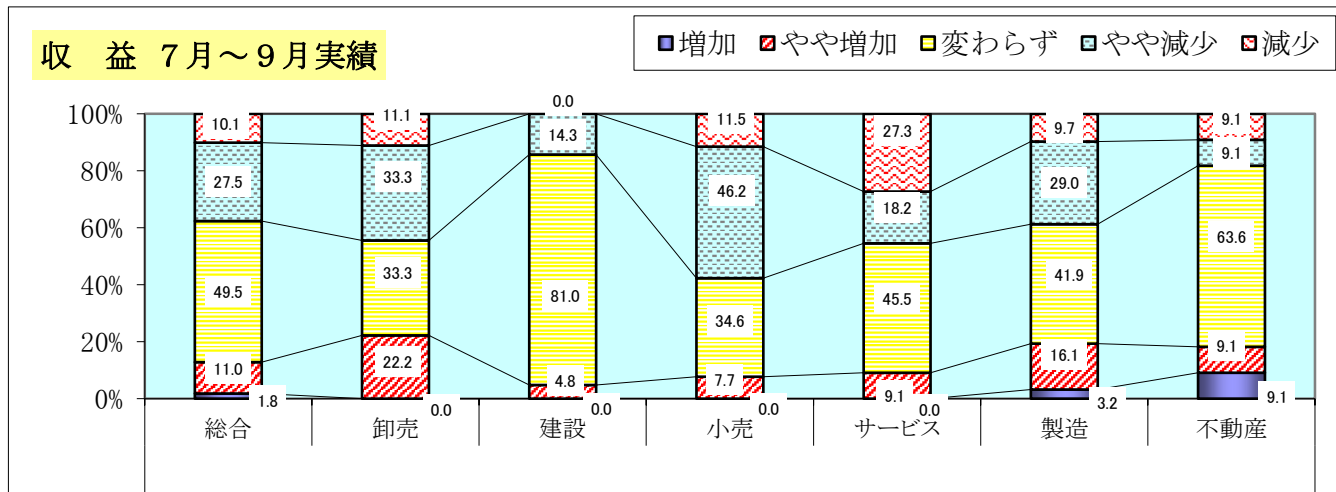
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							23.8	
7~9月予想							-4.8	
7~9月実績		4.8	28.6	42.9	23.8	0.0	9.6	-14.3



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△3.9で、前期実績のD. I. △5.8に対し1.9ポイント良化しました。前期調査における今期予想D. I. △15.4に対しても11.5ポイント良化しました。また、10~12月期の受注残予想D. I. は△21.1で、今期実績対比17.2ポイントの悪化予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は9.6となり、前期実績D. I. 23.8に対し14.2ポイント下回りました。前回調査における今期予想D. I. △4.8に対しては14.4ポイント上回りました。また、10~12月期の施工高予想D. I. は△14.3で、今期実績対比23.9ポイント下回る予想となりました。

(3) 収益の動き

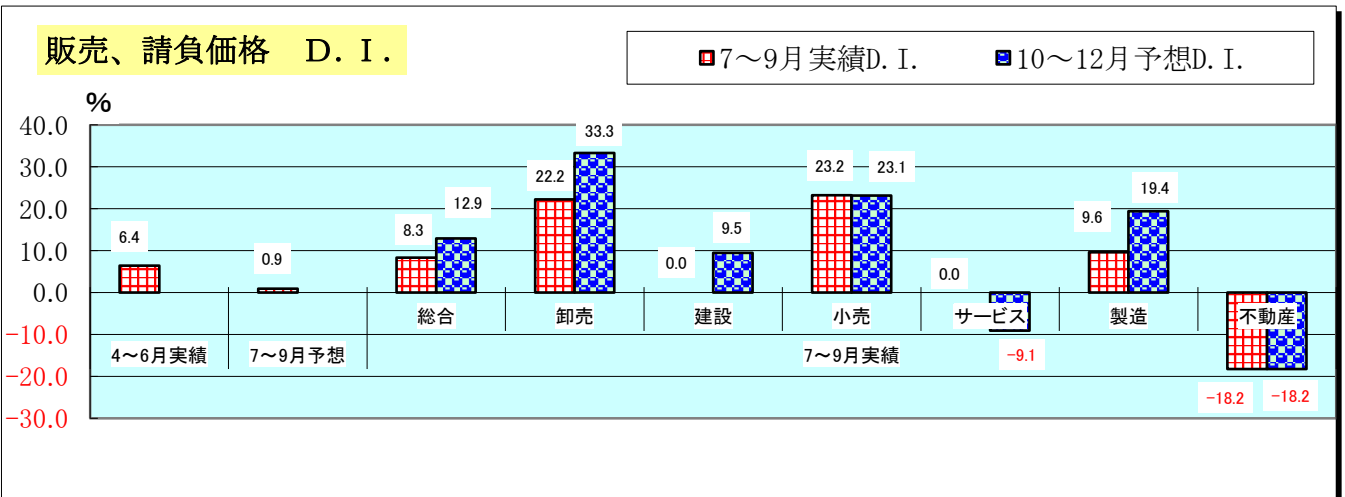
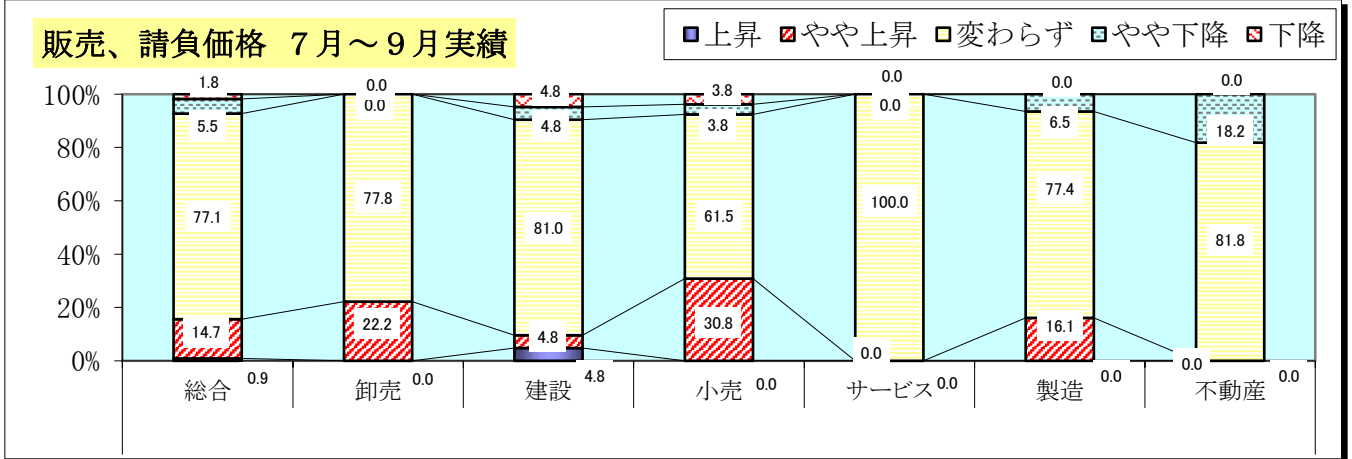
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-33.0	
7~9月予想							-28.4	
7~9月実績	総合	1.8	11.0	49.5	27.5	10.1	-24.8	-18.3
	卸売	0.0	22.2	33.3	33.3	11.1	-22.2	0.0
	建設	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	-14.3
	小売	0.0	7.7	34.6	46.2	11.5	-50.0	-19.2
	サービス	0.0	9.1	45.5	18.2	27.3	-36.4	-36.4
	製造	3.2	16.1	41.9	29.0	9.7	-19.4	-16.2
	不動産	9.1	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	-27.3



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は12.8%、「やや減少」「減少」した企業は37.6%で、今期D. I. は $\Delta 24.8$ となりました。
- 今期の収益実績D. I. $\Delta 24.8$ は、前期実績D. I. $\Delta 33.0$ から8.2ポイント上回り、前回調査における今期予想D. I. $\Delta 28.4$ に対しても3.6ポイント上回りとなりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業のみが0.0ポイントを示し、他全ての業種で減少となりました。殊に小売業で50.0、サービス業で36.4ポイントの大幅減少となりました。次いで、卸売業で22.2、製造業で19.4、建設業で9.5ポイントの減少となりました。
- 10~12月期の予想D. I. は $\Delta 18.3$ で、7~9月実績より6.5ポイントの良化を予想しています。

(4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

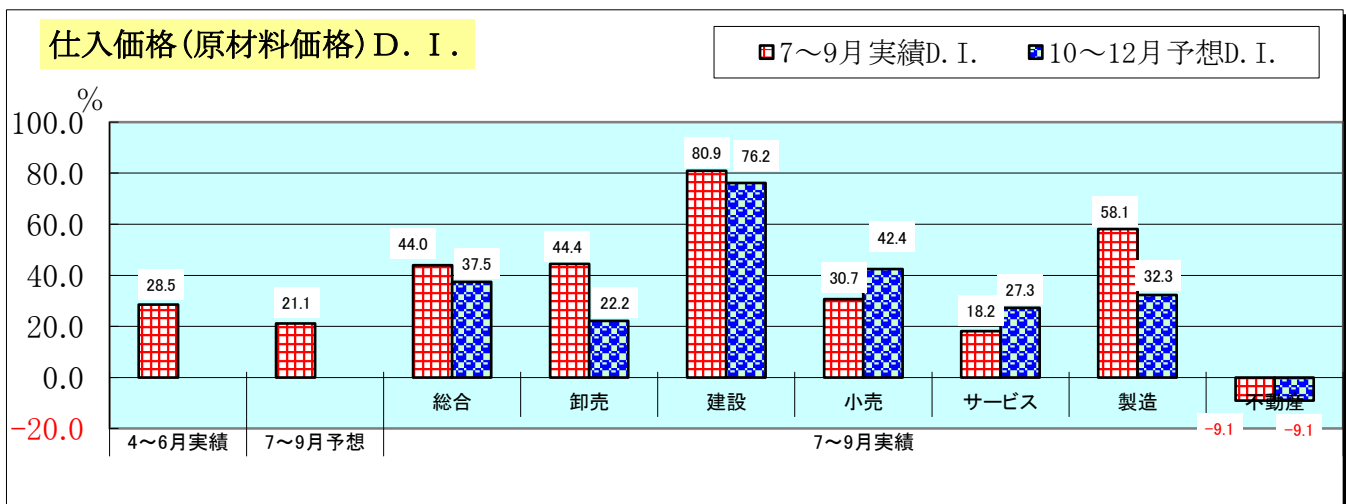
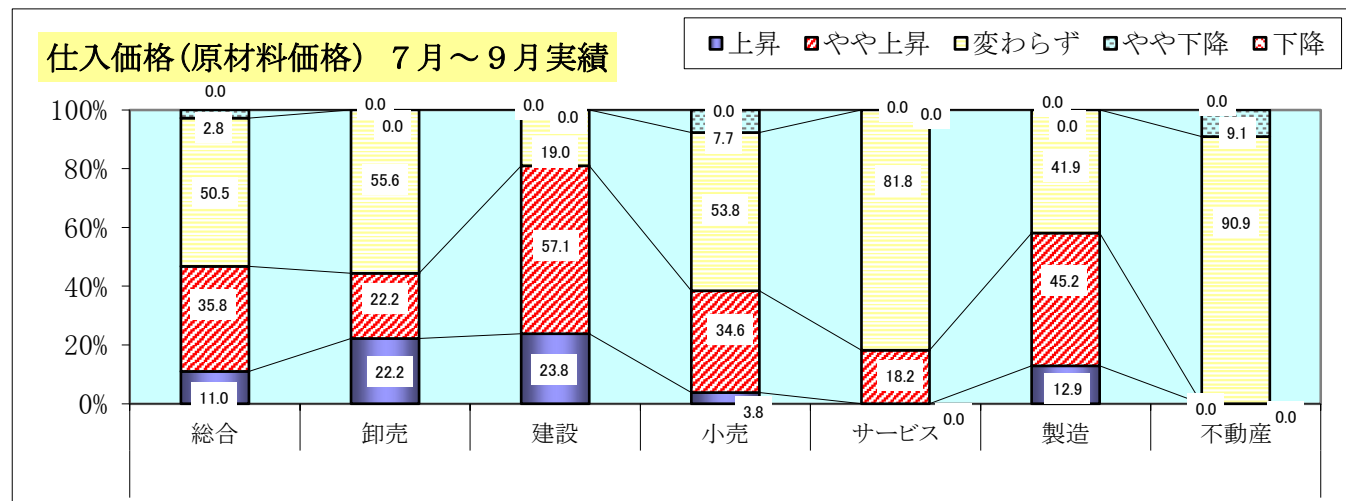
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							6.4	
7～9月予想							0.9	
7～9月実績	総合	0.9	14.7	77.1	5.5	1.8	8.3	12.9
	卸売	0.0	22.2	77.8	0.0	0.0	22.2	33.3
	建設	4.8	4.8	81.0	4.8	4.8	0.0	9.5
	小売	0.0	30.8	61.5	3.8	3.8	23.2	23.1
	サービス	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-9.1
	製造	0.0	16.1	77.4	6.5	0.0	9.6	19.4
	不動産	0.0	0.0	81.8	18.2	0.0	-18.2	-18.2



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が15.6%、「やや下降」「下降」と回答している企業が7.3%で、今期D. I. は8.3となりました。
- 今期の販売価格実績D. I. 8.3は、前期実績D. I. 6.4から1.9ポイント上回り、前回調査における今期予想D. I. 0.9ポイントからも7.4ポイント上回りとなりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で23.2、卸売業で22.2、製造業で9.6ポイントの上昇となりました。一方、不動産業で18.2ポイントの下降となりました。また、建設業とサービス業では変動が無くD. I. は0.0となりました。
- 10～12月期の予想D. I. は12.9で、7～9月期実績より4.6ポイントの価格上昇を予想しています。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

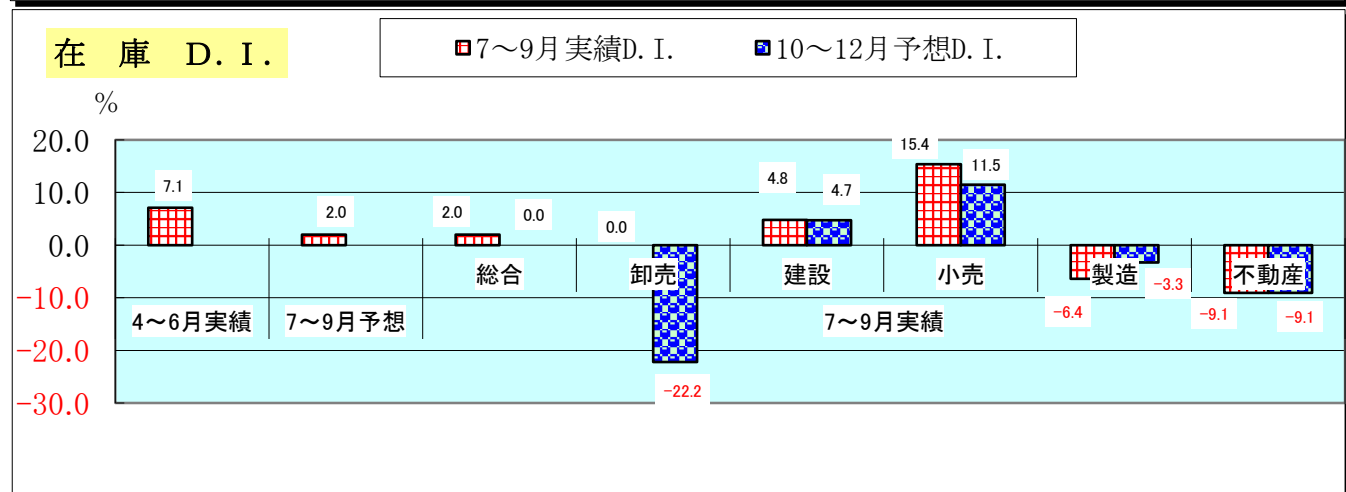
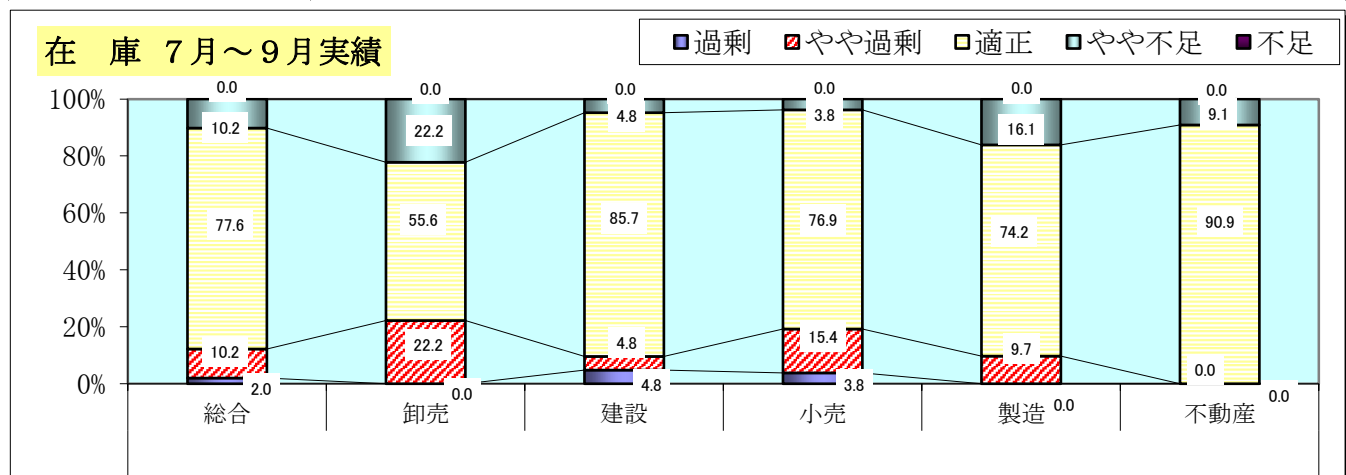
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							28.5	
7～9月予想							21.1	
7～9月実績	総合	11.0	35.8	50.5	2.8	0.0	44.0	37.5
	卸売	22.2	22.2	55.6	0.0	0.0	44.4	22.2
	建設	23.8	57.1	19.0	0.0	0.0	80.9	76.2
	小売	3.8	34.6	53.8	7.7	0.0	30.7	42.4
	サービス	0.0	18.2	81.8	0.0	0.0	18.2	27.3
	製造	12.9	45.2	41.9	0.0	0.0	58.1	32.3
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が46.8%、「やや下降」「下降」と回答している企業が2.8%で、今期D. I. は44.0となりました。
- 今期の仕入価格実績D. I. 44.0は、前期実績D. I. 28.5から15.5ポイント上昇し、前回調査における今期予想D. I. 21.1からも22.9ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業が△9.1と価格の下降を示し、他業種は、全て上昇となりました。殊に建設業で80.9、製造業で58.1、卸売業で44.4ポイントと大きな上昇を示しました。次いで、小売業で30.7、サービス業で18.2ポイントの価格上昇を示しました。
- 10～12月期の予想D. I. は37.5で、7～9月期実績より6.5ポイントの下降を予想しました。

(6) 在庫の動き

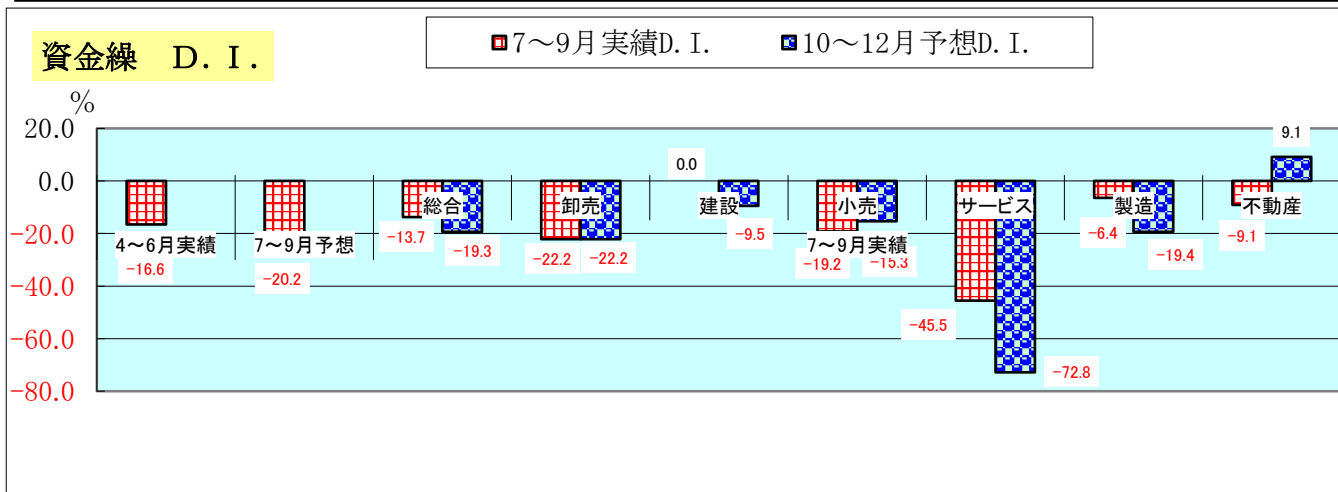
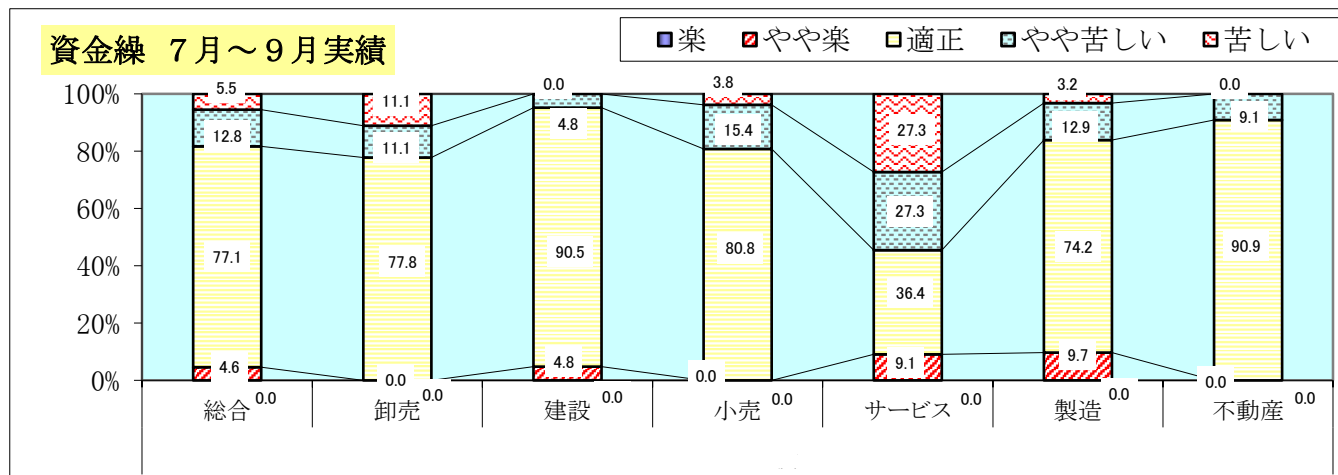
在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							7.1	
7～9月予想							2.0	
7～9月実績	総合	2.0	10.2	77.6	10.2	0.0	2.0	0.0
	卸売	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0	-22.2
	建設	4.8	4.8	85.7	4.8	0.0	4.8	4.7
	小売	3.8	15.4	76.9	3.8	0.0	15.4	11.5
	製造	0.0	9.7	74.2	16.1	0.0	-6.4	-3.3
不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	-9.1	



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が12.2%、「やや不足」「不足」と回答している企業が10.2%で、今期D. I. は2.0となりました。
- 今期の在庫実績D. I. 2.0は、前期実績D. I. 7.1から5.1ポイントの過剰改善傾向となった。前回における今期予想D. I. 2.0に対しては予想通りの結果となりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で15.4、建設業で4.8ポイントの過剰となりました。一方、不動産業で9.1、製造業で6.4ポイントの不足を示しております。また、卸売業では0.0で均衡となりました。
- 10～12月期の予想D. I. は0.0で、7～9月期実績より2.0ポイントの過剰改善を予想しています。

(7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-16.6	
7~9月予想							-20.2	
7~9月実績	総合	0.0	4.6	77.1	12.8	5.5	-13.7	-19.3
	卸売	0.0	0.0	77.8	11.1	11.1	-22.2	-22.2
	建設	0.0	4.8	90.5	4.8	0.0	0.0	-9.5
	小売	0.0	0.0	80.8	15.4	3.8	-19.2	-15.3
	サービス	0.0	9.1	36.4	27.3	27.3	-45.5	-72.8
	製造	0.0	9.7	74.2	12.9	3.2	-6.4	-19.4
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	9.1

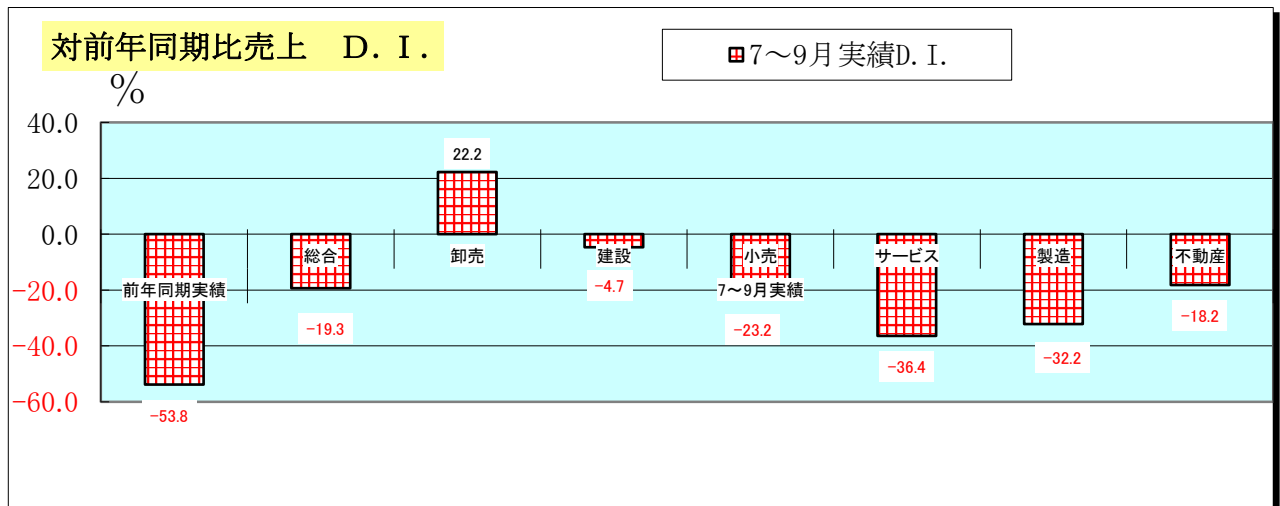
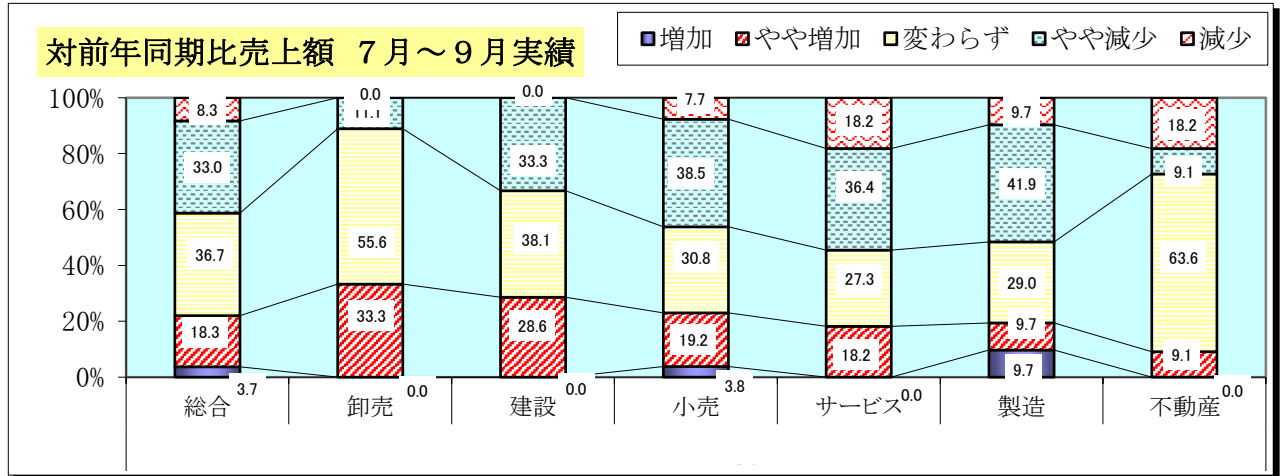


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が4.6%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が18.3%となり、今期D. I. は△13.7となりました。
- 今期の資金繰り実績D. I. △13.7は、前期実績D. I. △16.6から2.9ポイント良化、前回調査における今期予想D. I. △20.2からも6.5ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、建設業のみが0.0ポイントで資金繰りは均衡状態となっている。他の業種は資金繰りが苦しく、殊にサービス業で△45.5ポイントと厳しい状況を呈している。
- 10~12月期の予想D. I. は△19.3で、7~9月期実績より5.6ポイント悪化予想となりました。

3. 対前年同期に比べた動き

(1) 売上

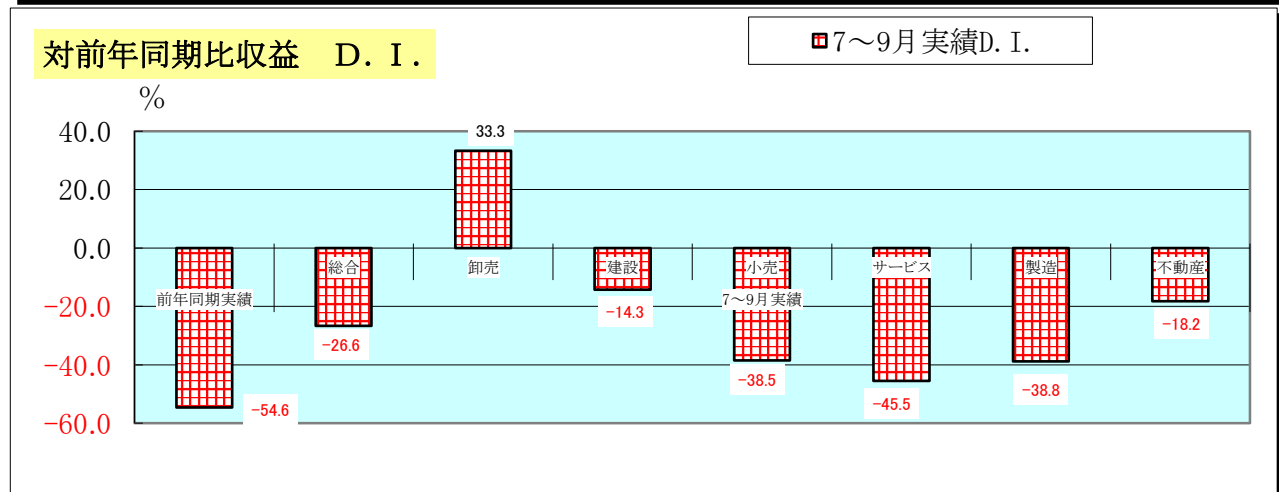
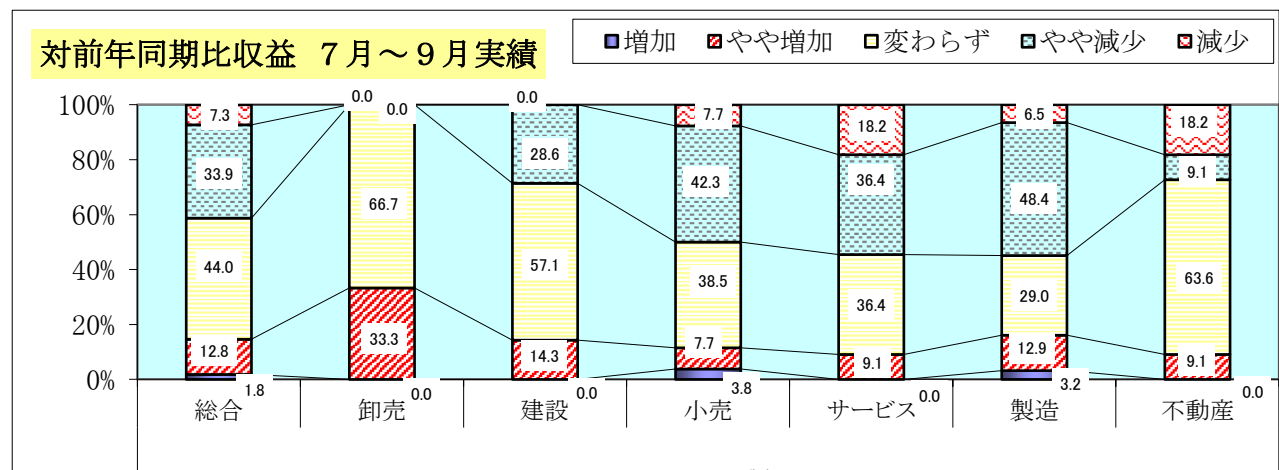
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.
前年同期実績							-53.8
7~9月実績	総合	3.7	18.3	36.7	33.0	8.3	-19.3
	卸売	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0	22.2
	建設	0.0	28.6	38.1	33.3	0.0	-4.7
	小売	3.8	19.2	30.8	38.5	7.7	-23.2
	サービス	0.0	18.2	27.3	36.4	18.2	-36.4
	製造	9.7	9.7	29.0	41.9	9.7	-32.2
	不動産	0.0	9.1	63.6	9.1	18.2	-18.2



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が22.0%、「やや減少」「減少」と回答している企業が41.3%で、今期D. I. は△19.3となりました。
- 今期実績D. I. △19.3は、前年同期実績D. I. △53.8に対し34.5ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で22.2ポイントの増加となりました。一方、サービス業、製造業、小売業、不動産業、建設業では減少となりました。

(2) 収益

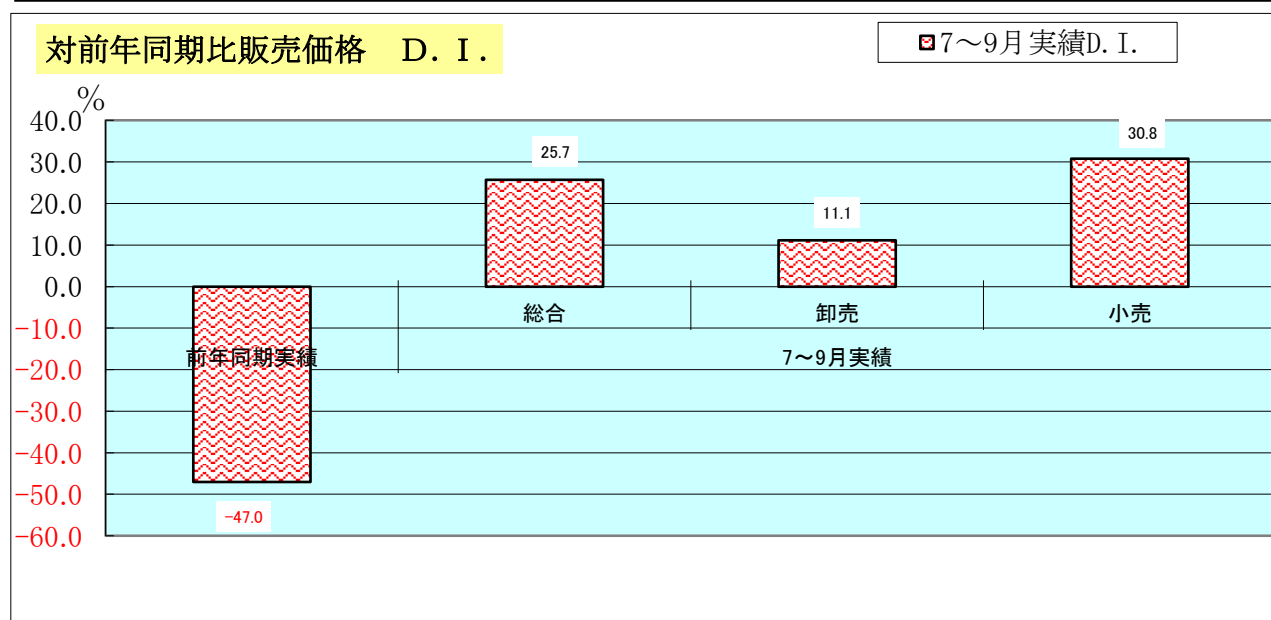
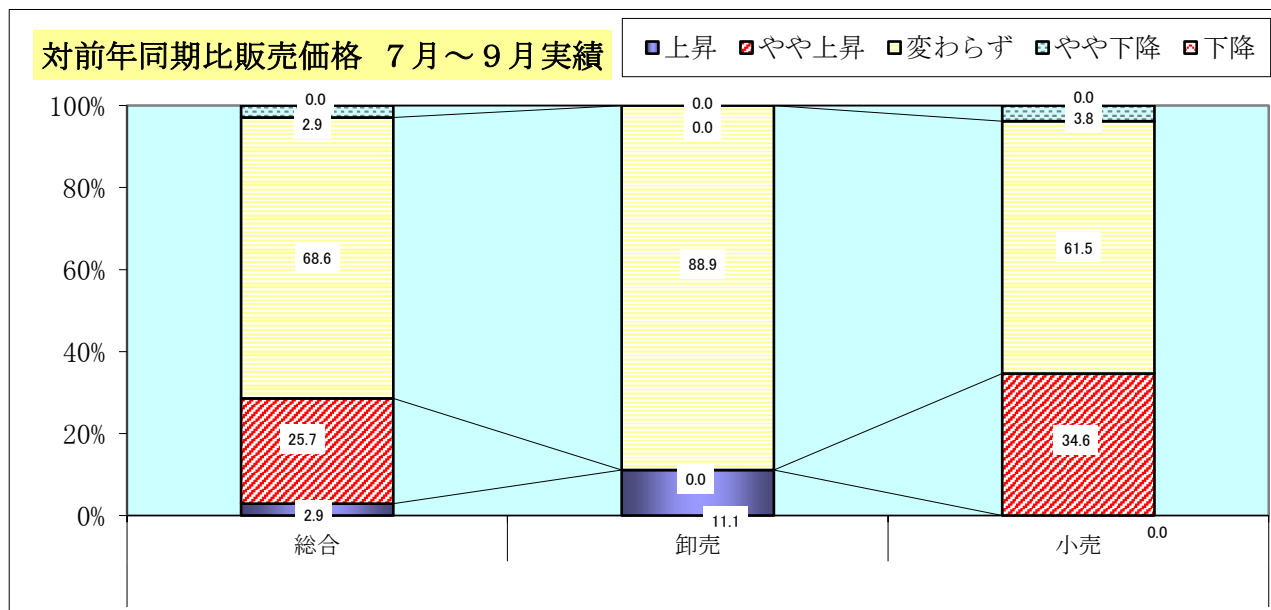
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.
前年同期実績							-54.6
7~9月実績	総合	1.8	12.8	44.0	33.9	7.3	-26.6
	卸売	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3
	建設	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0	-14.3
	小売	3.8	7.7	38.5	42.3	7.7	-38.5
	サービス	0.0	9.1	36.4	36.4	18.2	-45.5
	製造	3.2	12.9	29.0	48.4	6.5	-38.8
	不動産	0.0	9.1	63.6	9.1	18.2	-18.2



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が14.6%、「やや減少」「減少」と回答している企業が41.2%で、今期D. I. は△26.6となりました。
- 今期実績D. I. △26.6は、前年同期実績D. I. △54.6に対し、28.0ポイントの良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業のみが33.3ポイントの増加を示しました。一方、サービス業、製造業、小売業、不動産業、建設業は減少となりました。

(3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	7~9月実績D. I.
前年同期実績							-47.0
7~9月実績	総合	2.9	25.7	68.6	2.9	0.0	25.7
	卸売	11.1	0.0	88.9	0.0	0.0	11.1
	小売	0.0	34.6	61.5	3.8	0.0	30.8

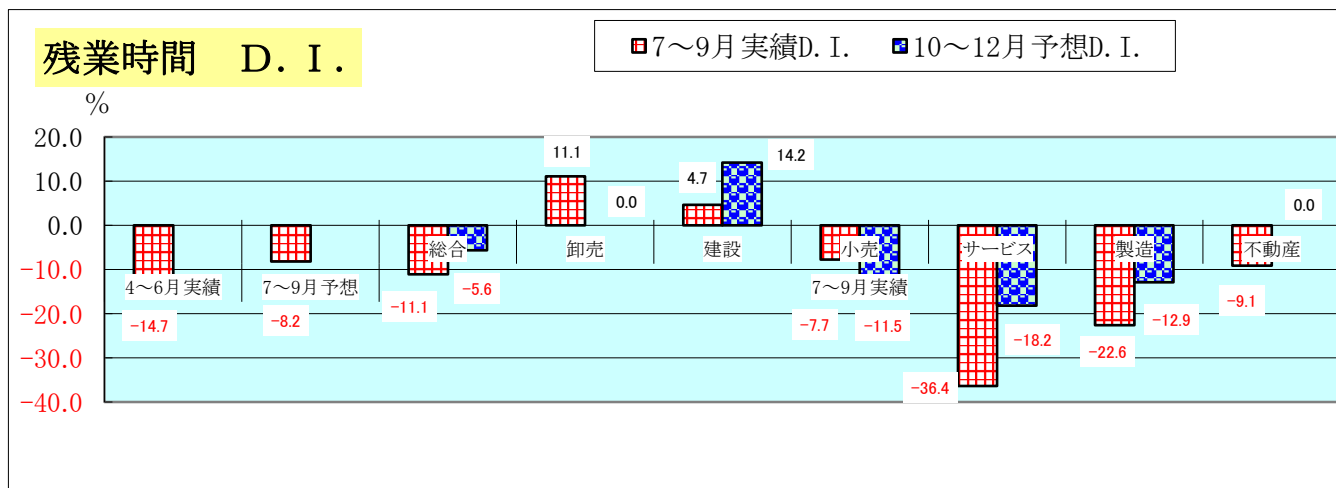
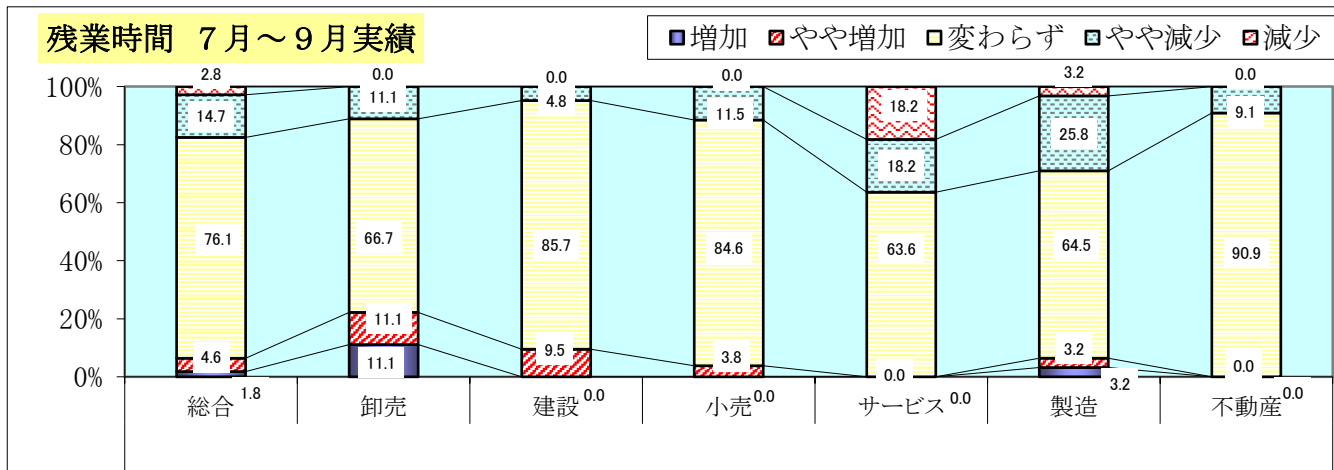


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が28.6%、「やや下降」「下降」と回答している企業が2.9%となり、今期D. I. は25.7となりました。
- 今期実績D. I. 25.7は、前年同期実績D. I. △47.0に対し72.7ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で30.8、卸売業で11.1、ポイントの上昇となりました。

4. 雇用面の動き

(1) 残業時間

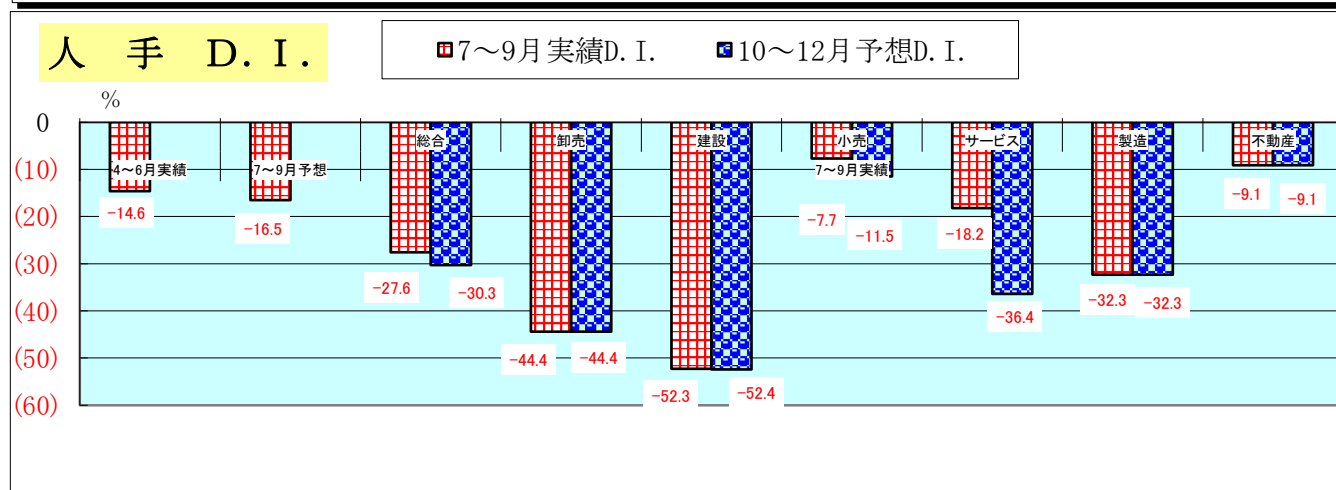
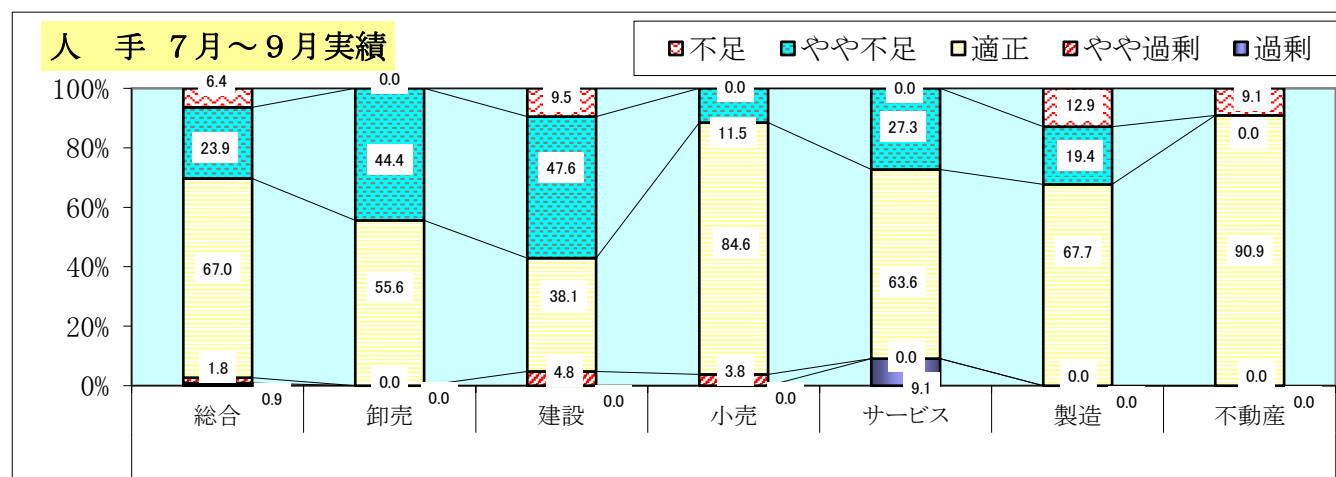
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-14.7	
7~9月予想							-8.2	
7~9月実績	総合	1.8	4.6	76.1	14.7	2.8	-11.1	-5.6
	卸売	11.1	11.1	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0
	建設	0.0	9.5	85.7	4.8	0.0	4.7	14.2
	小売	0.0	3.8	84.6	11.5	0.0	-7.7	-11.5
	サービス	0.0	0.0	63.6	18.2	18.2	-36.4	-18.2
	製造	3.2	3.2	64.5	25.8	3.2	-22.6	-12.9
	不動産	0.0	0.0	90.9	9.1	0.0	-9.1	0.0



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」と回答している企業が6.4%、「やや減少」「減少」と回答している企業が17.5%で、今期D. I. は△11.1となりました。
- 今期実績D. I. △11.1は、前期実績D. I. △14.7に対し3.6ポイント残業時間の増加となりました。前回調査における今期予想D. I. △8.2に対しては2.9ポイントの残業時間の減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で11.1、建設業で4.7ポイントの増加となりました。一方、サービス業、製造業、不動産業、小売業は減少となりました。
- 10~12月期の予想D. I. は△5.6で、7~9月期実績より5.5ポイントの残業時間増加を予想しています。

(2) 人手

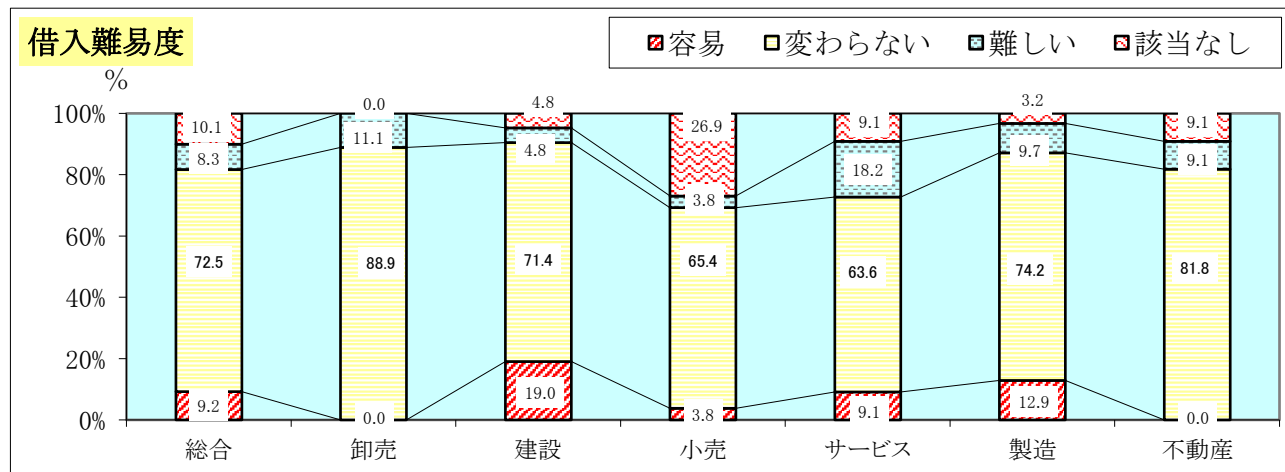
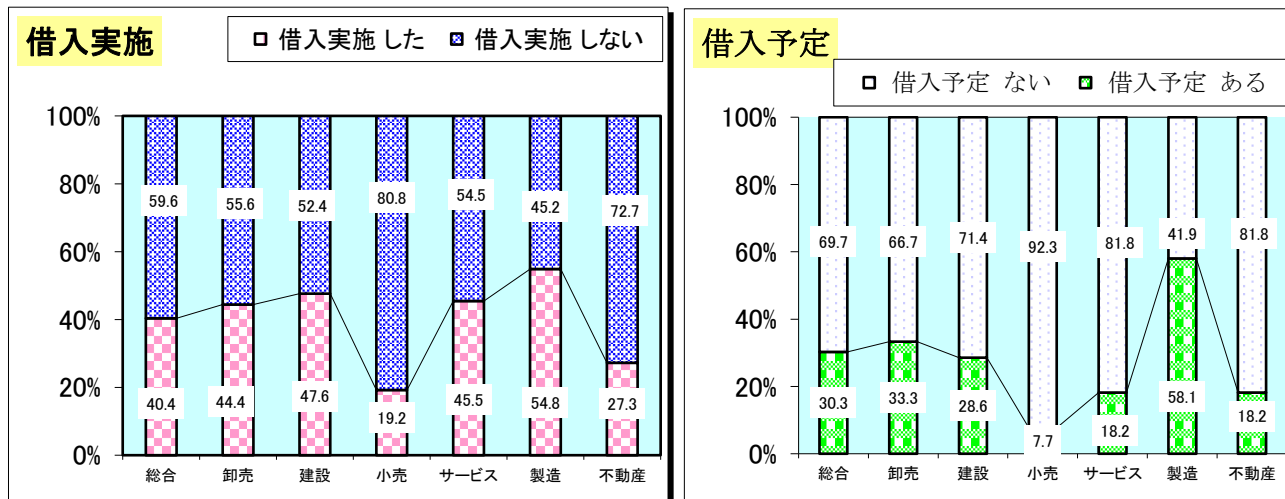
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7~9月実績D. I.	10~12月予想D. I.
4~6月実績							-14.6	
7~9月予想							-16.5	
7~9月実績	総合	0.9	1.8	67.0	23.9	6.4	-27.6	-30.3
	卸売	0.0	0.0	55.6	44.4	0.0	-44.4	-44.4
	建設	0.0	4.8	38.1	47.6	9.5	-52.3	-52.4
	小売	0.0	3.8	84.6	11.5	0.0	-7.7	-11.5
	サービス	9.1	0.0	63.6	27.3	0.0	-18.2	-36.4
	製造	0.0	0.0	67.7	19.4	12.9	-32.3	-32.3
	不動産	0.0	0.0	90.9	0.0	9.1	-9.1	-9.1



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が2.7%、「やや不足」「不足」と回答している企業が30.3%で、今期D. I. は△27.6となりました。
- 今期実績D. I. △27.6は前期実績D. I. △14.6から13.0ポイント、前回調査における今期予想D. I. △16.5に対しても、11.1ポイント人手不足感が強まった。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で人手不足を示した。殊に、建設業で△52.3、卸売業で△44.4、製造業で△32.3ポイントと人手不足が顕著となっている。
- 10~12月期の予想D. I. は△30.3で、7~9月期実績より2.7ポイントの人手不足予想となりました。

5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	40.4	59.6	30.3	69.7	9.2	72.5	8.3	10.1
卸売	44.4	55.6	33.3	66.7	0.0	88.9	11.1	0.0
建設	47.6	52.4	28.6	71.4	19.0	71.4	4.8	4.8
小売	19.2	80.8	7.7	92.3	3.8	65.4	3.8	26.9
サービス	45.5	54.5	18.2	81.8	9.1	63.6	18.2	9.1
製造	54.8	45.2	58.1	41.9	12.9	74.2	9.7	3.2
不動産	27.3	72.7	18.2	81.8	0.0	81.8	9.1	9.1

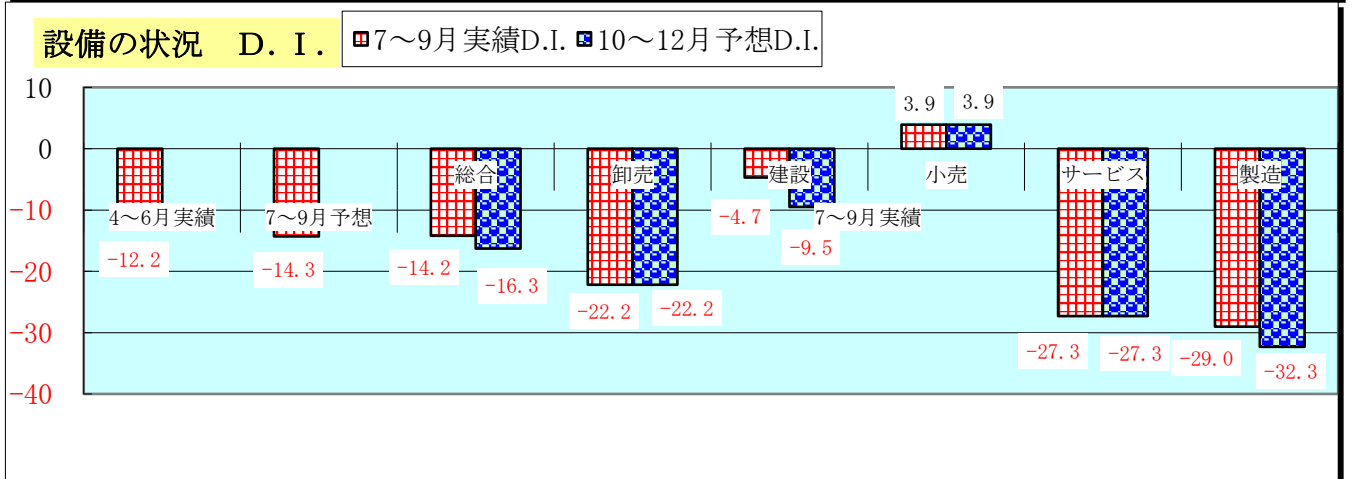
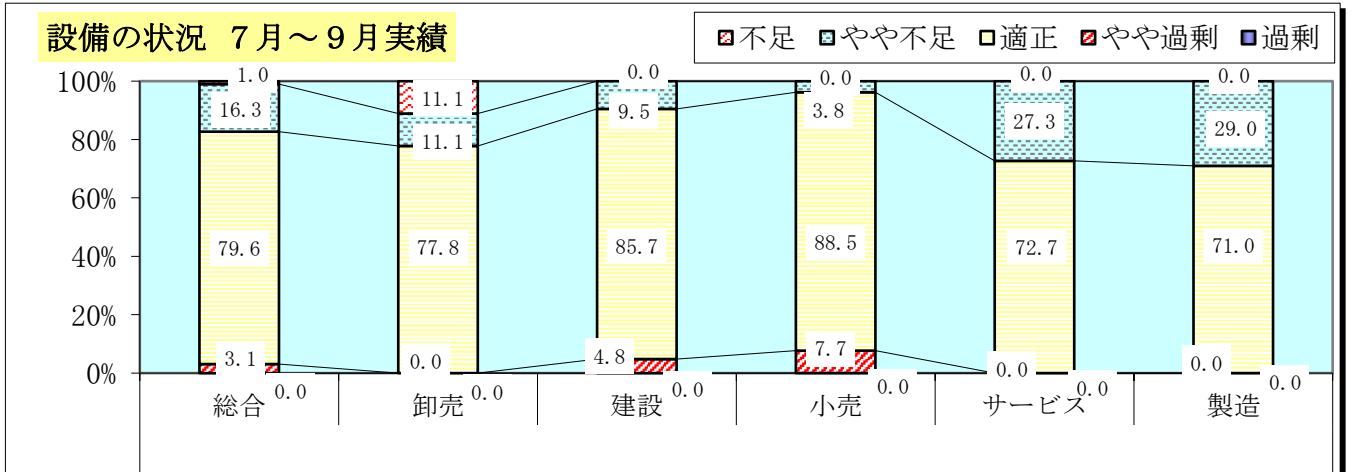


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の40.4%で、前回借入実施率と同じとなりました。業種別では、製造業で54.8%、建設業で47.6%、サービス業で45.5%、卸売業で44.4%、不動産業で27.3%、小売業で19.2%となりました。
- 今後の借入予定では、30.3%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業で58.1%、卸売業で33.3%、建設業で28.6%、サービス業・不動産業で18.2%、小売業で7.7%となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が72.5%（前回67.0%）、「容易」は9.2%（前回7.3%）、「難しい」は8.3%（前回11.9%）となりました。

6. 設備投資の動き

(1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	7～9月実績D. I.	10～12月予想D. I.
4～6月実績							-12.2	
7～9月予想							-14.3	
7～9月実績	総合	0.0	3.1	79.6	16.3	1.0	-14.2	-16.3
	卸売	0.0	0.0	77.8	11.1	11.1	-22.2	-22.2
	建設	0.0	4.8	85.7	9.5	0.0	-4.7	-9.5
	小売	0.0	7.7	88.5	3.8	0.0	3.9	3.9
	サービス	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	-27.3	-27.3
製造	0.0	0.0	71.0	29.0	0.0	-29.0	-32.3	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が3.1%、「不足」「やや不足」と回答している企業が17.3%で、今期D. I.は△14.2となりました。
- 今期の実績D. I. △14.2は、前期実績D. I. △12.2に対して2.0ポイントの不足感が強まった。前回調査における今期予想D. I. △14.3に対しほぼ横這いとなりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で3.9ポイントの過剰を示しました。他業種では、製造業で△29.0、サービス業で△27.3、卸売業で△22.2、建設業で△4.7と不足を示しました。
- 10～12月期の予想D. I.は△16.3で、今期実績より2.1ポイント設備不足感が強まる予想となりました。

(2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合	7	8	11	7	11	2	69
卸売	0	0	1	1	1	0	7
建設	0	5	4	5	7	1	10
小売	4	-	-	0	1	1	21
サービス	0	0	2	0	1	0	9
製造	3	3	4	1	1	0	22

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合	2	6	4	1	10	0	79
卸売	0	0	1	0	1	0	7
建設	0	4	0	1	7	0	13
小売	1	-	-	0	1	0	24
サービス	0	0	2	0	0	0	9
製造	1	2	1	0	1	0	26

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ46件で前期の37件を9件上回りました。
業種別内訳では、建設業22件、製造業12件、小売業6件、サービス業・卸売業が共に3件となっています。
設備投資の実施内容は、「機械更改」・「車両」が共に11件、「機械新增設」8件、「土地建物」・「事務機器」が共に7件、「その他」2件となっています。
- 来期の設備投資の予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ23件となっています。
業種別内訳では、建設業12件、製造業5件、卸売業・小売業・サービス業が共に2件の予定となっています。
設備投資の予定内容は、「車両」10件、「機械新增設」6件、「機械更改」4件、「土地建物」2件、「事務機器」1件の予定となっています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	8	6	9	6	15	16	9	9	14	19	6	6	61	62	24.2	24.2
同業者間の競争激化	0	0	2	1	4	5	2	2	1	3	1	2	10	13	4.0	5.1
利幅の縮小	3	4	8	4	6	4	1	0	7	9	5	2	30	23	11.9	9.0
人件費の増加	1	1	5	3	1	1	4	3	2	1	1	2	14	11	5.6	4.3
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	0	0	4	0	7	8	0	0	11	8	4.4	3.1
人件費以外の経費の増加	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	3	0.4	1.2
大手企業（大型店）との競争激化	0	2	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	4	4	1.6	1.6
合理化の不足	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3	0	0	3	4	1.2	1.6
天候の不順	1	1	2	3	1	3	1	0	0	1	0	0	5	8	2.0	3.1
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	0.8	0.4
原材料高・材料価格の上昇	0	0	8	11	0	0	0	0	16	12	0	0	24	23	9.5	9.0
地場産業の衰退	0	1	2	1	3	3	0	0	4	3	0	0	9	8	3.6	3.1
集客力の低下	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	3	0.8	1.2
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	3	6	5	2.4	2.0
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	1.2	0.0
人手不足	2	2	8	11	2	2	0	1	10	8	2	1	24	25	9.5	9.8
商圏人口の減少	0	0	0	0	11	13	1	1	0	0	0	0	12	14	4.8	5.5
取引先の減少	1	2	0	0	6	4	1	0	0	0	0	0	8	6	3.2	2.3
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	1	3	0	0	1	1	2	4	0	0	4	8	1.6	3.1
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4	0.4	1.6
問題なし	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	3	4	5	1.6	2.0
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
その他	0	1	0	2	2	3	0	1	1	3	0	1	3	11	1.2	4.3
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
仕入先からの値上り要請	0	1	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	3	3	1.2	1.2
下請けの確保難	0	0	2	3	0	0	0	0	3	1	0	0	5	4	2.0	1.6
合計	18	23	49	50	60	60	24	18	77	83	24	22	252	256	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」 62件
 第2位～ 「人手不足」 25件
 第3位～ 「利幅の縮小」 23件
 「原材料高・材料価格の上昇」

前期

第1位～ 「売上の停滞・減少」 61件
 第2位～ 「利幅の縮小」 30件
 第3位～ 「原材料高・材料価格の上昇」、
 「人手不足」 24件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	売上の停滞・減少 6	利幅の縮小 4	大手企業（大型店）との競争激化、人手不足、取引先の減少 2
建設業	原材料高・材料価格の上昇、人手不足 11	売上の停滞・減少 6	利幅の縮小 4
小売業	売上の停滞・減少 16	商圏人口の減少 13	同業者間の競争激化 5
サービス業	売上の停滞・減少 9	人件費の増加 3	同業者間の競争激化 2
製造業	売上の停滞・減少 19	原材料高・材料価格の上昇 12	利幅の縮小 9
不動産業	売上の停滞・減少 6	販売商品・商品物件の不足、問題なし 3	同業者間の競争激化、利幅の縮小、人件費の増加 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	5	7	9	7	15	18	5	6	13	11	4	5	51	54	21.1	22.9
販路を広げる	7	5	5	5	0	0	6	3	19	18	3	3	40	34	16.5	14.4
情報力を強化する	1	2	9	5	0	0	0	0	7	6	5	6	22	19	9.1	8.1
人材を確保する	1	1	11	12	3	3	0	3	11	15	2	0	28	34	11.6	14.4
技術力を強化（高める）	0	0	10	8	0	0	1	0	0	0	0	0	11	8	4.5	3.4
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	0	0	8	7	3.3	3.0
機械化を推進する	1	1	0	0	1	0	0	0	4	3	0	0	6	4	2.5	1.7
パート化を図る	0	0	5	1	2	2	1	0	1	1	1	1	10	5	4.1	2.1
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	1	0	1	4	0	0	0	0	3	2	0	0	5	6	2.1	2.5
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	5	0	2.1	0.0
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
新しい事業を始める	0	0	0	0	3	5	8	8	0	0	3	3	14	16	5.8	6.8
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.7	1.7
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0.0	0.8
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	3	6	1.2	2.5
特になし	0	1	0	0	3	4	0	1	0	1	3	4	6	11	2.5	4.7
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0.8	0.0
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	2	3	1	0	1	0	0	0	0	1	4	4	1.7	1.7
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	3	4	1.2	1.7
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	1.2	1.3
営業時間を延長する	0	2	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5	7	2.1	3.0
提携先を見つける	2	2	1	1	2	2	2	1	0	0	1	0	8	6	3.3	2.5
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.4	0.4
合計	19	21	53	46	47	52	27	23	71	71	25	23	242	236	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 54 件
 第2位～ 「販路を広げる」 34 件
 「人材を確保する」
 第3位～ 「情報力を強化する」 19 件

前期
 第1位～ 「経費を節減する」 51 件
 第2位～ 「販路を広げる」 40 件
 第3位～ 「人材を確保する」 28 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
卸売業	経費を節減する	7	販路を広げる	5	情報力を強化、営業時間を延長する、提携先を見つける	2
建設業	人材を確保する	12	技術力を強化(高める)	8	経費を節減する	7
小売業	経費を節減する	18	売れ筋商品を取扱う	6	新しい事業を始める 営業時間を延長する	5
サービス業	新しい事業を始める	8	経費を節減する	6	販路を広げる 人材を確保する	3
製造業	販路を広げる	18	人材を確保する	15	経費を節減する	11
不動産業	情報力を強化する	6	経費を節減する	5	特になし	4

特別調査

「中小企業の雇用環境について」

問 1 貴社では、人手の状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合は1～4より、人手が過剰な場合は6～9よりそれぞれ過不足のある職域をお答えください。なお、適正な場合は5を選択してください。

	人手不足				5. 適正	人手過剰			
	1. 現場作業関係	2. 営業・販売関係	3. 経理・財務・管理関係	4. その他の職種		6. 現場作業関係	7. 営業・販売関係	8. 経理・財務・管理関係	9. その他の職種
合計（構成比）	32.1%	11.0%	0.9%	0.9%	52.3%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%
総合	35	12	1	1	57	2	1	0	0
卸売	5	3	0	0	1	0	0	0	0
建設	14	1	0	0	5	1	0	0	0
小売	2	3	0	0	21	0	0	0	0
サービス	2	1	0	0	7	1	0	0	0
製造	12	3	1	0	14	0	1	0	0
不動産	0	1	0	1	9	0	0	0	0

上記質問では、「適正」との回答が57先と大方を占めた。

人手不足については、1.「現場作業関係」が35先と一番多く、次いで2.「営業・販売関係」が12先と上位となった。

人手過剰については、6.「現場作業関係」が2先、次いで、7.「営業・販売関係」1先となった。

問 2 政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました（2020年を除く）。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。正規社員への影響については1～5の中から、非正規社員への影響については6～9の中から選んでお答えください。

	正規社員への影響					非正規社員への影響				
	1. 減らす	2. 変わらない	3. 増やす	4. わからない	5. もともと正規社員はいない	6. 減らす	7. 変わらない	8. 増やす	9. わからない	0. もともと非正規社員はいない
合計（構成比）	0.0%	78.0%	6.4%	9.2%	6.4%	0.9%	53.2%	8.3%	5.5%	32.1%
総合	0	85	7	10	7	1	58	9	6	35
卸売	0	7	1	1	0	0	2	2	1	4
建設	0	15	4	2	0	0	14	3	1	3
小売	0	18	0	4	4	0	10	1	1	14
サービス	0	9	0	2	0	1	4	1	2	3
製造	0	25	2	1	3	0	24	0	1	6
不動産	0	11	0	0	0	0	4	2	0	5

上記質問では、正規社員への影響については、2.「変わらない」が85先と一番多く、次いで4.「わからない」10先、3.「増やす」・5.「もともと正規社員はいない」が各7先などとなった。

非正規社員については、7.「変わらない」が58先と一番多く、次いで、0.「もともと非正規社員はいない」35先、8.「増やす」9先、9.「わからない」6先、6.「減らす」1先の回答となった。

問 3 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

	1. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善	2. 賃金引き上げと労働生産性の向上	3. 長時間労働の是正	4. 人材育成	5. テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	6. 女性・若者が活躍しやすい環境整備	7. 高齢者の就業促進	8. 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立	9. 外国人等多様な人材の受入れ	0. 特にない
	合計（構成比）	3.9%	13.3%	8.8%	13.3%	1.1%	11.6%	13.3%	4.4%	2.2%
総合	7	24	16	24	2	21	24	8	4	51
卸売	2	1	4	3	1	2	2	2	1	1
建設	2	8	1	6	0	3	8	2	0	9
小売	1	5	4	6	0	5	1	2	0	16
サービス	1	2	1	3	1	3	1	0	0	5
製造	1	4	6	4	0	6	12	2	3	13
不動産	0	4	0	2	0	2	0	0	0	7

上記質問では、0.「特になし」が51先と一番多く、次いで2.「賃金引き上げと労働生産性の向上」・4.「人材育成」・7.「高齢者の就業促進」が共に24先、6.「女性・若者が活躍しやすい環境整備」が21先、3.「長時間労働の是正」16先などが主だった回答となった。

問 4 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。1～9の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

	1. 機械設備の導入	2. IT投資の実施	3. 企業間連携による業務の共同化等	4. 業務の外注	5. 高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ	6. 業務プロセスの改善	7. M&Aなどの事業再編による規模の拡大	8. 人材育成の実施	9. 働きやすい環境や制度の整備	0. 特にない
合計（構成比）	9.4%	5.3%	3.5%	9.4%	4.1%	8.8%	0.6%	15.8%	15.2%	28.1%
総合	16	9	6	16	7	15	1	27	26	48
卸売	1	1	1	2	1	3	0	4	3	1
建設	6	3	0	6	0	1	1	6	8	7
小売	2	2	3	2	0	6	0	6	5	15
サービス	1	0	0	0	2	1	0	3	1	6
製造	5	2	2	6	4	3	0	7	6	12
不動産	1	1	0	0	0	1	0	1	3	7

上記質問では、0.「特にない」48先と一番多く、次いで、8.「人材育成の実施」27先、9.「働きやすい環境や制度の整備」26先、1.「機械設備の導入」・4.「業務の外注」が各16先、6.「業務プロセスの改善」15先、2.「IT投資の実施」9先などが主な回答となった。

問 5 貴社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

	1. 人材の紹介・派遣	2. 取引先金融機関の人材を派遣	3. 人材マッチングサービスの活用	4. 補助金・助成金の紹介	5. 採用にかかる情報提供	6. 社労士等の専門家紹介	7. 従業員研修の実施	8. 他企業の先進事例紹介	9. 福利厚生サービス等の利用提案	0. 特に求めているない
合計（構成比）	8.1%	0.7%	4.7%	25.5%	3.4%	0.7%	4.0%	9.4%	4.0%	39.6%
総合	12	1	7	38	5	1	6	14	6	59
卸売	1	0	0	5	0	0	3	3	0	2
建設	4	0	4	3	2	0	1	5	2	12
小売	0	0	1	9	2	0	2	3	1	15
サービス	3	0	0	4	0	0	0	1	0	6
製造	4	1	2	13	1	1	0	1	2	17
不動産	0	0	0	4	0	0	0	1	1	7

上記質問では、0.「特に求めているない」59先と一番多く、次いで、4.「補助金・助成金の紹介」38先、8.「他企業の先進事例紹介」14先、1.「人材の紹介・派遣」12先、3.「人材マッチングサービスの活用」7先、7.「従業員研修の実施」・9.「福利厚生サービス等の利用提案」が各6先、5.「採用にかかる情報提供」5先、2.「取引先金融機関の人材を派遣」・6.「社労士等の専門家紹介」が各1先の回答となった。